

# 数学学習指導案

日時 平成25年6月13日(木) 5校時

学級 2年A組13名 B組12名

計25名

授業者 西川 慶介

## 1 単元名 1章「式の計算」(学校図書「中学校 数学」2年)

### 2 単元の目標

- (1) 簡単な整式の加法、減法及び単項式の乗法、除法の計算をすることができる。
- (2) 目的に応じて、簡単な式を変形することができる。
- (3) 文字を用いた式で数量及び数量の関係を説明できることを理解することができる。

### 3 単元の評価規準

ア 数学への関心・意欲・態度	イ 数学的な見方や考え方	ウ 数学的な技能	エ 数量、図形などについての知識・理解
○様々な事象を文字を用いた式でとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心をもち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。	○文字を用いた式についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	○事象を文字を用いた式で表現したり、式の意味を読み取ったり、簡単な整式の加法・減法の計算や単項式の乗法・除法の計算をしたりするなど、技能を身に付けている。	○単項式や多項式などの意味や、数量の関係を文字を用いた式で一般的に説明することの必要性和意味を理解し、知識を身に付けている。

### 4 単元について

#### (1) 生徒観

中学校第1学年の正負の数の学習の頃から、丁寧に計算することをこころがけており、答えを求めるだけでなく、計算過程を大切にしている習慣も身につけてきた。また、文字については、文字を用いて数量関係や法則を式で表現すること、文字を用いた式は数と同じように計算できることなどが身につけており、一元一次方程式を解くなどの学習を通して、文字に対する苦手意識は低い。

中学校第2学年ではこれらの学習をもとに、文字をふくむ整式の四則計算ができるようになり、文字を用いた式で数量および数量の関係をとりえ、事象を文字を利用して説明できることを理解し、文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする学習をしてきた。ここでは、数量や図形の性質を帰納や類推によって予想し、文字式を使って注意深く観察させ、一般的に説明できるように取り組ませる。

また、単元の最後に既習事項をもとにしながら課題解決の場面を多く設定し、文字を用いた式を活用する「よさ」を実感させる。

## (2) 教材観

本単元は、中学校数学の全領域の内容と深いかわりをもつとともに、論理的に物事を考える基礎をなすものとして重要な位置を占めている。

中学校第1学年では、正負の数を用いて数量やその関係を表すことを学習した。また、文字については、文字を用いて数量関係や法則を式で表現すること、文字を用いた式は数と同じように計算できること、一元一次方程式を解くことなどを学習してきた。

中学校第2学年では、これらの学習をもとに、文字をふくむ整式の四則計算ができるようになることや、文字を用いた式で数量および数量の関係をとらえ、文字を利用して事象の説明ができることを理解し、文字を用いて式に表現したり、式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式を活用するよさを実感することをねらいとする。単元の最後には既習事項をもとにした課題解決の場面を多く設定する。

## (3) 指導観

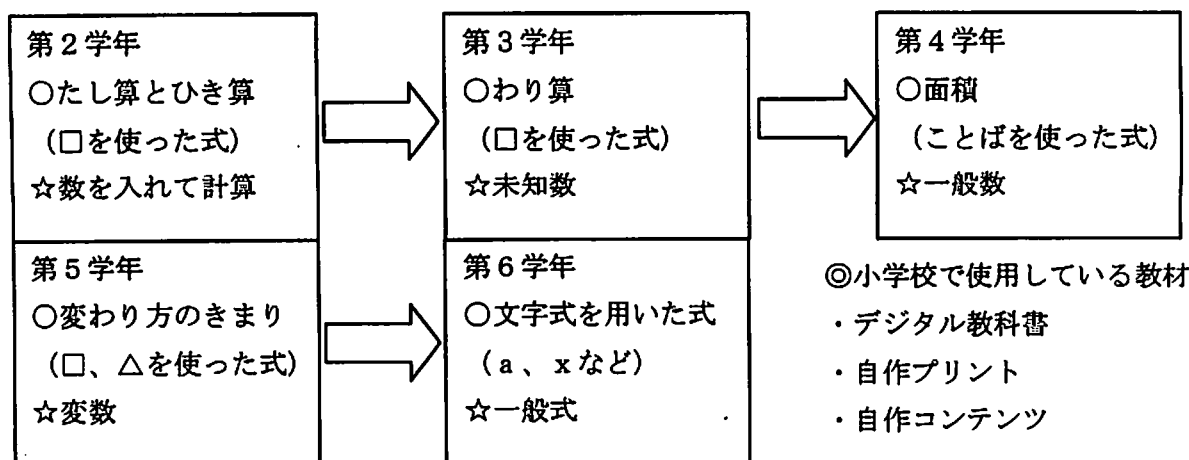
文字式はすでに第1学年でも扱った単元であり、文字を使った数量の表現や文字式の読み取りなどは学習してきたが、文字式を使った説明について正式に学習するのは初めてである。指導にあたっては、数や図形の性質を帰納的に見いだす活動を取り入れ、一般的に説明することの必要性を理解させた上で、文字式を導入する。

本時では学習指導要領の示す数学的活動ウに取り組む機会として、「数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道を立てて説明し伝え合う活動」を取り扱っている。さらに、ここでの学習が、中学校第2学年で扱う「論証」に発展していくので、自分のことばで説明することができ、周囲を納得させられるような力もつけさせる。

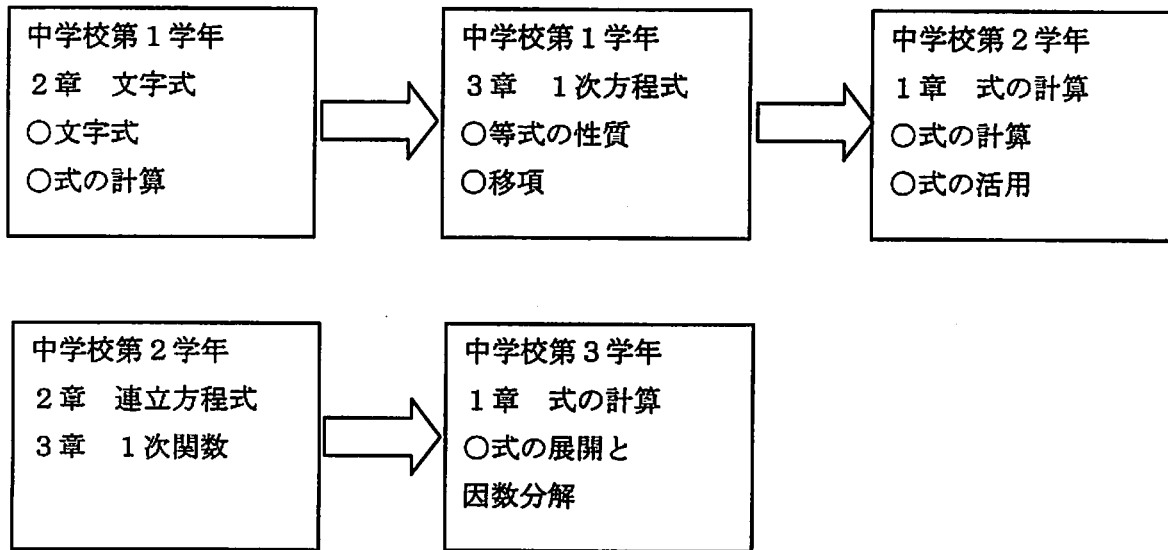
本校では、個人の能力に応じたきめ細かい指導を行うため、数学の授業において2学級を3グループに分ける少人数指導を行っている。少人数指導の特性をいかし、全員が一度は発言できるようにすることと、全員が理解できていることを確認しながら授業を展開させている。また、一人ひとりと教員が会話をする時間を設けて、個々が考える時間を確保していき、友だちの意見にも耳を傾け、理解し認め合うことでお互いの力を高めていく。

## (4) 小学校との関連

### ●小学校算数の内容の構成



●中学校数学の内容へのつながり



本章では、これらの学習の上に立って、いくつかの文字式を含む整式の四則計算ができるようにするとともに、文字式を用いた式で数量および数量関係をとらえて説明できることを理解し、文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式を活用することの「よさ」を実感できるようにする。

●文字の使い方、用い方およびその意味

① 数の代表としての文字

加法の交換法則  $a + b = b + a$     面積を表す公式  $S = a b$

② 未知数としての文字

一元一次方程式  $x =$

③ 変数としての文字

数量を  $m$ 、 $n$  を用いて表される式  $50m + 120n$     一次関数  $y = a x$

④ 定数としての文字

円周率  $\pi$     比例関係を表す式  $y = a x$

⑤ 記号としての文字

三角形  $ABC$  を表す記号  $\triangle ABC$

## 5 指導計画と評価計画

### 1章 式の計算 全14時間

#### 1節「式の計算」9時間

節・項	時数	●学習内容 および ★用語・記号	評価規準			
			数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解
章の扉	1	●誕生日当てクイズを基にして、文字式を用いると計算の仕組みが読み取れることに気付く。 ●1年で学んだ式の計算の復習をする。	○文字式に関心をもち、その意味を考えようとしている。	○具体的な場面で、文字式の意味を読み取ることができる。	○1年で学んだ文字式の計算ができる。	○1年で学んだ文字式の計算の方法を理解している。
1 文字式のしくみ	1	●文字式について、単項式・多項式、式の次数の意味を理解する。 ★単項式、多項式、定数項、次数	○文字式が分類できることに興味をもち、調べようとしている。	○単項式と多項式の違いや、式の次数について考えることができる。	○単項式と多項式を区別することができる。 ○式の次数を読み取ることができる。	○単項式、多項式、項、係数、1次式などの意味を理解している。
2 式の加法・減法	2	●同類項の意味及び同類項は1つにまとめられることを理解する。 ●多項式どうしの加法・減法の計算をする。 ★同類項	○整式の加法・減法に関心をもち、それらの計算をしようとしている。	○整式の加法・減法の計算の方法を、数の計算や1年で学んだ文字式の計算と関連付けて考えることができる。	○簡単な整式の加法・減法の計算ができる。	○同類項の意味を理解している。 ○簡単な整式の加法・減法の計算の方法を理解している。
3 式の乗法・除法	3	●単項式の乗法・除法の計算をする。 ●多項式と数の乗法・除法の計算をする。 ●分数係数を含む式などやや複雑な式の計算をする。	○単項式の乗法・除法や多項式と数の乗法・除法に関心をもち、それらの計算をしようとしている。	○単項式の乗法・除法や多項式と数の乗法・除法の計算を、数の計算や1年で学んだ文字式の計算と関連付けて考えることができる。	○単項式の乗法・除法の計算ができる。 ○多項式と数の乗法・除法の計算ができる。 ○分数係数を含む式など、やや複雑な式の計算ができる。	○単項式の乗法・除法の計算の方法を理解している。 ○多項式と数の乗法・除法の計算の方法を理解している。
4 式の値	1	●式の計算を活用して、式の値を効率的に求める。	○式の値を求めることに興味をもち、工夫して式の値を求めようとしている。	○効率的な式の値の求め方を考えることができる。	○式を簡単な形に直してから、式の値を求めることができる。	○式の値の効率的な求め方を理解している。
確かめよう	1	●基礎・基本が身についているか、確認する。				

#### 2節「式の利用」5時間

1 等式の変形	1	●2つ以上の文字を含んだ等式を、ある文字について解く。 ●面積の公式を、ある文字について解く。 ★xについて解く	○等式が変形できることに興味をもち、目的に応じて等式を変形しようとしている。	○目的に応じた式の変形の仕方を考えることができる。	○移項や等式の性質を使って、目的に応じて等式を変形することができる。	○等式を目的に応じて変形することの必要性や意味を理解している。
2 文字式による説明 (本時3時間目)	3	●数や図形の性質を帰納や類推によって予想し、文字式を用いて一般的に説明する。	○文字式で表現したり、その意味を読み取ったりすることに興味をもち、命題が成り立つことなどを説明しようとしている。	○文字式で表現したり、その意味を読み取ったりして、命題が成り立つことを説明することができる。	○数量及び数量の関係を、文字式で表すことができる。 ○文字式の意味を読み取ることができる。	○数量及び数量の関係を帰納や類推によってとらえ、それを文字式を用いて一般的に説明することの必要性と意味を理解している。
確かめよう	1	●基礎・基本が身についているか、確認する。				
1章のまとめと問題	1	●学習した内容の復習とまとめができる。				

## 6 本時について

### (1) 本時の目標

- 計算結果から規則性を見つけ、それに対して興味をもつ。
- 数の関係について論理的に説明する方法を考え理解する。
- 数の関係について文字を用いて一般的に表現する。
- 帰納的に見いだした数の性質を、文字を用いた式でとらえ、説明することができる。

### (2) 指導の構想

生徒が数学の学習に主体的に取り組むことができるようになるためには、数学的活動の楽しさや数学の「よさ」を実感することが大切である。

本時の内容は生徒の探求的・問題解決的な学習を促進し、数学的な見方や考え方を深めて、数学的活動の「よさ」を味わわせる。

### (3) 数学的活動の楽しさや「よさ」について

数学にかかわりのあるさまざまな営みに目的意識をもって主体的に取り組む活動を通して、新たな性質や考え方を見いだそうとしたり、具体的な課題を解決しようとしたり、数量や図形などについて実感を伴って理解したり、思考力、判断力、表現力等を高めたりできるようにし、数学を学ぶことの楽しさや意義を実感できるように指導する。

数学の「よさ」には「数量の関係を方程式であらわすことができれば、形式を変形して解を求めることができる」といった数学的な表現や処理の「よさ」や数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の「よさ」、数学的な見方や考え方の「よさ」などがある。また、数学が生活に役立つこと、数学が科学技術を支え、相互にかかわって発展してきていることなどにかかわる知識も数学の「よさ」として実感できるように指導する。

数学的活動のうち、特に5つの活動を重視し大切にす。

- ① 簡潔・明瞭に、一般的に表現する活動。
- ② 数量の関係を具体的なものの意味に束縛されるのではなく、抽象的な数の関係に還元して形式的に考察する活動
- ③ 既習の数学を基にして数や図形の性質などを見だし、発展させる活動
- ④ 日常生活や社会での数学を利用する活動
- ⑤ 数学的な表現を用いて自分の思考過程を表現することができ、根拠を明らかにし、筋道を立てて説明し伝え合う活動

### (4) 課題学習について

生徒の数学的活動への取り組みを促し、思考力、判断力、表現力等の育成を図るため、各領域の内容を総合したり日常の事象や他教科等での学習に関連づけたりするなどして、課題を見いだして解決するものである。

また言語活動を充実することや、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにする。文字式を用いて考察すると意外な結論が導かれることを理解することにより、課題追求への意欲を育む。

(5) 本時の課題「17段目の数の不思議」進め方

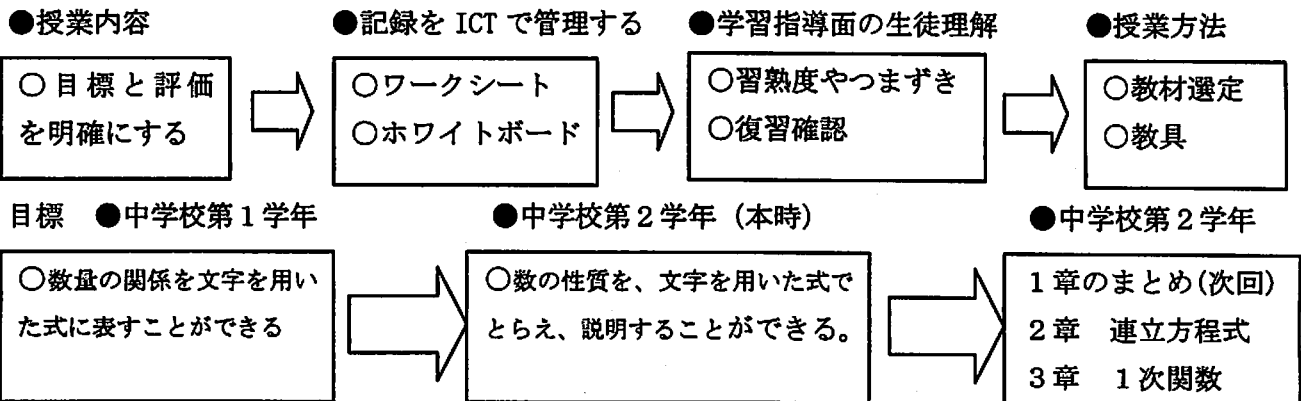
- ① 実験結果から法則性を発見し、それに対して興味をもつ。
- ② 2段目の数と17段目の数の関係を論理的に説明する方法を考え理解する。
- ③ 17段目の数を文字を用いて一般的に表現する。
- ④ 17段目の数の表す式の意味を読み取ることができる。

(6) 形成的評価

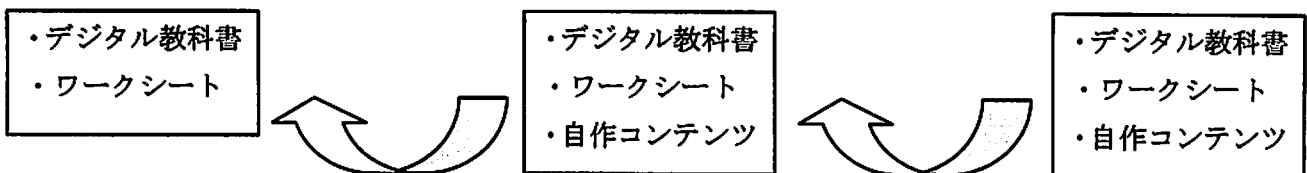
本時では帰納的に見いだした数の性質を文字を用いた式でとらえ、一般化して説明することが必要である。そのため、本時の課題に対する考え方や文字の一般化についての発表が終了した時点で、各自のワークシートをチェックし、習熟度を確認する。

その後本時の課題についてまとめを行い、演習問題へ進む。

<イメージ>



使用教材



(7) 評価規準

観点	おおむね満足できると判断できる状況 (B)	十分満足できると判断されるキーワード (A)	努力を要する生徒への支援の手だての例	評価の方法
17段の表の中にある数量の関係に関心を持ち、規則性を見いだそうとする。(ア関心・意欲・態度)	2段目の数と17段目の数に規則性があることに気づく。	2段目の数と17段目の数に規則性があることに気づき、規則性を見いだそうとする。	表を参考にしながら、2段目の数と17段目の数の関係に気づかせる。	ワークシートへの記入 発言・挙手の記録 グループ活動の様子
17段の表の中にある数量関係を、文字式を用いて一般的に表現し、説明することができる。(イ見方や考え方)	2段目の数と17段目の数を文字式を用いて表現し、一般的な説明を考察することができる。	2段目の数と17段目の数を文字式を用いて表現し、一般的な説明を考察し、説明し伝えることができる。	2段目の数と17段目の数の関係に気づかせ、文字式を用いて表現させる。	ワークシートへの記入 発言・挙手の記録 グループ活動の様子

(8) 本時の展開

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点・配慮	評価内容
導入 10分	<p>1 小テストを解く</p> <p>2 前時まで学習したことを振り返る ○文字を使った式の有用性を認識する</p> <p>3 暗算のテスト ○ワークシートで1桁のたし算に取り組む。</p>	<p>1 学習ドリルを使用する ○自分の力で問題を解く</p> <p>2 プリントを提示する ○前回までに記録したプリントを提示する</p> <p>3 問題を正しく理解する ○計算方法を確認する ○一の位のみ記入する</p>	<p>ア自ら進んで取り組む。</p> <p>ア学習内容の振り返りができる。</p> <p>ア正しく計算ができる。 ア表の空欄を埋める</p>
展開 35分	<p>4 不思議さに気づく ○続けて空欄を埋める</p> <p>5 規則性を見つける ○考え方を記入する ○自力解決に取り組む、自分の考えをもつ。</p> <p>6 グループで話し合う ○グループで一つの答えを導き出す</p> <p>7 グループで発表をする ○全員が理解している</p> <p>8 ワークシート記入 ○17段目の数と2段目の数に着目している</p> <p>9 学習のまとめ ○17段目の数は2段目の数を7倍した数の一桁の数になる</p> <p>10 問題を解く ○演習問題を解く</p>	<p>4 規則を理解する ○2段目と17段目の関係に注目する</p> <p>5 自力解決をさせる ○規則性があることに気づく</p> <p>6 話し合った内容を発表できるようにまとめる ○全員が意見を言い合える ○少人数グループにする</p> <p>7 グループで話し合った内容をまとめる</p> <p>8 考えを再構築する ○発表を参考にワークシートへ自分の考えを記入する</p> <p><b>形成的評価</b></p> <p>9 振り返る ○a、bなど2つの文字を使って一般式を表す。 ○一段目の数aに関係ないことに気づく</p> <p>10 自分の力で問題を解く ○数の規則性を見つける</p>	<p>ア本時の課題に意欲的に臨んでいる。 イ自分の考えをことばで表すことができる。</p> <p>イグループの中で、自分の考えを説明し、伝え合うことができる。</p> <p>イグループで出てきた意見を理解しながら説明している。 イ文字式を用いて表すことができる。</p> <p>イ自分の考えと学習のまとめから、文字を利用することのよさに気づく。</p> <p>イ自分の考えを文字を用いて表すことができる。</p>
終末 5分	<p>11 ふりかえる ○自己評価、感想を記入</p>	<p>11 自己評価、感想を記入させる</p>	<p>ア自ら進んで取り組む。</p>

評価

- 計算結果から規則性を見つけ、それに対して興味をもつことができた。
- 数の関係について論理的に説明する方法を考え理解することができた。
- 数の関係について文字を用いて一般的に表現することができた。
- 帰納的に見いだした数の性質を、文字を用いた式でとらえ、説明することができた。





①数の規則（性質）について気づいたこと

自分の考え

まわりの考え

②数の規則（性質）について一般性を説明する方法

自分の考え

まわりの考え

③見いだした数の規則（性質）を、文字を用いた式でとらえ、説明しなさい。

自分の考え

まわりの考え

自己評価（5段階評価）

①一桁のたし算が正しくできた

 / 5

②2段目の数が5のとき、17段目の数が常に5であることが見つけられた

 / 5

③1段目の数に関係なく、17段目の数が決まることに気づいた

 / 5

④2段目の数と17段目の数の関係を見つけられた

 / 5

⑤授業の目標が理解できた

 / 5

**演習問題**      **カレンダーの中の数をいろいろな形で囲んで、  
数の規則性を見つけてみましょう**

6 月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

①カレンダーの中の数の規則（性質）について気づいたこと

②カレンダーの中の数の規則（性質）について一般性を説明する方法

③見いだした数の規則（性質）を、文字を用いた式でとらえ、説明しなさい。

式の活用 ワークシート

課題 1 「奇数と偶数の差はどのような数になるか」

手順

- ①具体的な数で考える
- ②規則性について考える
- ③数の性質を文字を用いた式でとらえ説明する

①数の規則（性質）について気づいたこと

自分の考え

まわりの考え

②数の規則（性質）について一般性を説明する方法

自分の考え

まわりの考え

③見いだした数の規則（性質）を、文字を用いた式でとらえ、説明しなさい。

自分の考え

まわりの考え

式の活用 ワークシート

課題2「2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた自然数の差はどのような数になるか」

手順

- ①具体的な数で考える
- ②規則性について考える
- ③数の性質を文字を用いた式でとらえ説明する

①数の規則（性質）について気づいたこと

自分の考え
まわりの考え

②数の規則（性質）について一般性を説明する方法

自分の考え
まわりの考え

③見いだした数の規則（性質）を、文字を用いた式でとらえ、説明しなさい。

自分の考え	まわりの考え
-------	--------

式の活用 ワークシート

課題3 「2けたの自然数から、その数の十の位の数と一の位の数の和をひいた数が、どのような数になるか」

手順

- ①具体的な数で考える
- ②規則性について考える
- ③数の性質を文字を用いた式でとらえ説明する

①数の規則（性質）について気づいたこと

自分の考え

まわりの考え

②数の規則（性質）について一般性を説明する方法

自分の考え

まわりの考え

③見いだした数の規則（性質）を、文字を用いた式でとらえ、説明しなさい。

自分の考え

まわりの考え

**演習問題**      **カレンダーの中の数をいろいろな形で囲んで、**  
**数の規則性を見つけてみましょう**

6 月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

①カレンダーの中の数の規則（性質）について気づいたこと

②カレンダーの中の数の規則（性質）について一般性を説明する方法

③見いだした数の規則（性質）を、文字を用いた式でとらえ、説明しなさい。

自己評価（5段階評価）

①数の規則（性質）について気づいたことができた

②数の規則（性質）について一般性を説明する方法がわかった

③見いだした数の規則（性質）を文字を用いた式でとらえ説明できた。

④具体的な数を使って関係を見つけられた

⑤授業の目標が理解できた

# 第2学年 数学 学習指導案

駒の学び舎 駒沢中学校

年・組	2年AB組	活用する ICT	実物投影機、パソコン デジタル教科書、自作コンテンツ	授業者	西川 慶介
単元の目標	(1) 簡単な整式の加法、減法及び単項式の乗法、除法の計算をすることができる。 (2) 目的に応じて、簡単な式を変形することができる。 (3) 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解することができる。				
本時の目標	(1) 数の関係について文字を用いて一般的に表現する。 (2) 帰納的に見いだした数の性質を、文字を用いた式でとらえ、説明することができる。				
目標と ICT	A 基礎的・基本的な知識・技能      B 思考力・判断力・表現力等      C 主体的に学習する態度				
言語活動	パソコンを活用して、一つの課題を映し出すことで、問題に集中できる環境を作り、自分で解決しようとする意欲をもたせる。(C) 実物投影機を活用してワークシートやホワイトボードを映し、生徒が自分のことばで計算の過程を説明し伝えやすいようにする。				
	グループで話し合い、周りから出てきた意見を参考に自分の考えを振り返る。(C) グループの中で、自分の考えを説明し、伝え合うことができる。(B)				

	学習内容・活動	学習指導・留意点	ICT	○予想される生徒の反応 ◎評価
導入	1 小テストを解く  2 前時までの復習 ○文字を使った式の有用性を理解する。  3 暗算のテスト ○ワークシートで1桁のたし算に取り組む。	1 学習ドリルを使用する ○自分の力で問題を解く 2 問題を提示する  3 問題を正しく理解する ○計算方法を確認する ○一の位のみ記入する	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">実物投影機</div> 2 2列目に1桁の数を映し出す ○ワークシート、ホワイトボード  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">自作コンテンツ</div> 3 ワークシートを映し出す ○生徒に合わせて表に数字を書き入れていく	◎自ら進んで取り組む。 (関心・意欲・態度) ○画面に映し出した文字式に関心をもつ。 ◎問題を把握し、答えを求めようとする。 (関心・意欲・態度)  ○計算することに関心が高まる ◎表に数字を書き入れる。 一の位のみ記入している。(知識・理解)
展開	4 不思議さに気づく ○続けて空欄を埋める  5 規則性を見つける ○考え方を記入する ○自力解決に取り組む、自分の考えをもつ。  6 グループで話し合う ○グループで一つの答えを導き出す  7 グループで発表をする ○全員が理解している  8 ワークシート記入 ○17段目の数と2段目の数に着目している  9 学習のまとめ ○17段目の数は2段目の数を7倍した数の1桁の数になる  10 問題を解く ○演習問題を解く	4 規則を理解する ○2段目と17段目の関係に注目する 5 自力解決をさせる ○規則性があることに気づく  6 話し合った内容を発表できるようにまとめる ○全員が意見を言い合える少人数グループにする  7 グループで話し合った内容をまとめる  8 考えを再構築する ○発表を参考にワークシートへ自分の考えを記入する 一形成的評価 9 振り返る ○a、bなど2つの文字を使って一般式を表す。 ○一段目の数aに関係ないことに気づく  10 自分の力で問題を解く ○数の規則性を見つける。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">自作コンテンツ</div> 4表を映し出す(C) 5表を映し出す(C)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">実物投影機</div> 6生徒のワークシートを映し出す。(B) (ホワイトボードにまとめる)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">実物投影機</div> 7ワークシートを映し、生徒が自分の言葉で説明し伝えやすいようにする。(B) 8わかりやすく映し出す(C) ①1列目はa ②2列目はb  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">自作コンテンツ</div> 9まとめの表を映し出す。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">実物投影機</div> 10生徒のワークシートを映し出す。	○画面に映しだされた表に関心をもつ。 ◎本時の課題に意欲的に臨んでいるか。 (関心・意欲・態度) ◎自分の考えを式やことばで表すことができる。(見方や考え方)  ○自分の考えをグループに伝える。 ◎グループの中で、自分の考えを説明し、伝え合うことができる。(見方や考え方)  ◎グループで出てきた意見を理解しながら説明している。(見方や考え方) ◎2列目と17列目に着目し文字式を使って考えることができる。 (見方や考え方) ○発表者の内容に関心が高まる。 ◎本時の内容をふり返って分かったことや大切だと思った考え方をまとめる。 (見方や考え方) ◎問題に意欲的に臨んでいる。 (関心・意欲・態度) ○自作コンテンツに興味が高まる。 ◎自分の考えを式やことばで表すことができる。 (見方や考え方)  ◎自分の考えを文字を用いて表すことができる。(見方や考え方)
まとめ	11 ふりかえる ○自己評価、感想を記入	11 自己評価、感想を記入させる		◎自ら進んで取り組む(関心・意欲・態度)
評価	①計算結果から規則性を見つけ、それに対して興味をもつことができた。(C) ②数の関係について論理的に説明する方法を考え理解することができた。(B) ③数の関係について文字を用いて一般的に表現することができた。(B) ④帰納的に見いだした数の性質を、文字を用いた式でとらえ、説明することができた。(B)			